

研究室名	蓮田研究室 学会発表
------	-------------------

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究者および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2019年12月8日
学会名	第31回日本産業技術教育学会関東支部大会
演題名	衛生害虫のオートサンプリングマシンの開発と実験
発表者	○川田幸樹, 蓮田裕一, 田山智洋
内容	<p>蚊や蠅などの衛生害虫は、感染症を媒介することで知られており、全世界で毎年約100万人が蚊によって命を落としている。日本でも2014年にデング熱の国内感染が発生している。ヒトスジシマカの定着調査にはヒト罠法が推奨されているが、研究者が感染する危険性が伴う上、連続した調査が課せられるなど、負担が大きい。トラップ法も存在するが、自動で時間別にサンプリング可能な装置はほとんど開発されておらず、調査の無人化・自動化が強く要望されている。本研究では時間別に採集可能なオートサンプリングマシンを開発し、衛生害虫のサーベイランスの無人化・自動化を試みる。</p> <p>本研究では時間別に採集可能なオートサンプリングマシンを開発し、衛生害虫のサーベイランスの無人化・自動化を試みる。</p>
関連画像	<div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 20px;">  <p>(a)ヒトスジシマカ (b)オオクロヤブカ (c)ハマダライエカ (d)ヤマトクシヒゲカ (e)アカイエカ</p> <p style="text-align: center;">図2 捕獲した蚊</p> </div> </div>